



板山っ子だより

半田市立板山小学校

令和7年度

学校だより 7月号

令和7年7月1日発行

Ⅰ 学期を振り返って

早いもので1学期終業式までの登校日カウントダウンがあと13日となりました。いよいよ夏休みが目前に迫ってきました。

私は、この4月に板山小学校に赴任し、板山っ子はもちろん、保護者・地域の方々・教職員に支えられ、何とかここまでやってくることができました。ありがとうございました。

さて、1学期を振り返るといろいろなことが思い出されます。皆さんご承知のとおり、本校は、今年で移転50年・創立150周年という記念すべき節目の年を迎えます。

赴任早々の4月、板山地区の山車4台が揃い踏みで祝い込みに駆けつけてくれました。

5月には、県警察音楽隊の来校。校外学習として、いちご摘みやカーネーション摘み体験。プール掃除の折には、地元トマト農家からトマトの差し入れをいただきました。

また、多くの保護者や来賓の方々にご参観いただく中、運動会も開催することができました。結果は、『引き分け』に終わりましたが、分校の児童も含めて、ひとり一人が精一杯頑張る姿が印象的でした。

6月に入ると、竹炭体験活動や田植え体験活動も行われました。子どもたちは、学校では学べない貴重な体験を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができました。本校が掲げる『子どもは地域の宝。家庭が育て、学校が鍛え、地域で磨く』というスローガンのとおり、地域で磨く機会を与えていただき、大変感謝しています。本当にありがとうございました。

併せて、お散歩隊による交通立哨やきりんの会の方々による本の読み聞かせ等、板山っ子応援隊の皆さんには、日頃から大変お世話になっています。これからも板山っ子のために、引き続きご尽力いただきますよう、よろしくお願いします。暑い夏が始まりますが、どうぞご自愛ください。



子どもは地域の宝。家庭が育て



学校が鍛え



地域で磨く



時間は人から与えられるものではなく、自分から創り出すもの

板山っ子の皆さん、いよいよ夏休みが始まります。約40日間、皆さんと会えなくなることを寂しく思います。自分の時間を有効活用して生活することをお勧めします。

時間は、誰にでも平等に24時間が与えられています。しかし、その24時間の使い方は、あなたたちひとり一人が決めることができます。ダラダラ過ごしても、ゲーム三昧で過ごしても、スポーツや読書に親しんでも、寝ていてもトータルは24時間です。

あなたは、自分の24時間をどうコントロールしますか？

あなたの人生の主人公は、紛れもなくあなた自身です。誰かに言われて時間をコントロールするのではなく、自ら考え、判断し、決定して時間をコントロールし、有意義な夏休みにしてほしいと願います。学校が休みになるということは、自分で自由に使える時間が増えることになります。決して、宿題に追われるような生活ではなく、しっかり自分と向き合い、自分理解に時間をかけましょう。なぜなら、自分の一番の理解者は、自分自身でないといけないと思っているからです。

自分と向き合うとき、下に示した言葉を意識してみましょう。

- 1 生きるということは、『学ぶ』こと
- 2 生きるということは、『選択する』こと
- 3 生きるということは、『食べる』こと
- 4 生きるということは、『人の役に立つ』こと
- 5 生きるということは、『自分らしくある』こと



【7月の主な行事予定】

月／日	曜日	予 定	月／日	曜日	予 定
7／1	火	QUテスト（4年） ミツカン出前授業（3年）	7／11	金	保護者懇談会
2	水	飯ごう炊飯練習（5年） 上下水道出前講座（4年）	12	土	
3	木		13	日	
4	金	PTA役員会	14	月	
5	土		15	火	飯ごう炊飯練習予備日（5年）
6	日		16	水	半田信用金庫出前授業（6年）
7	月		17	木	
8	火	空の科学館見学（4年） 個人懇談会（～11日）	18	金	第1学期終業式
9	水	お掃除出前授業（1・2年） 周年記念行事委員会・口座振替日	19	土	野外活動（5年）
10	木	お掃除出前授業（1・3年） ↓	20	日	↓